

令和6年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

| | | | |
|------------------|--|----------|---|
| 実習タイトル | 臨湖実習③（湖沼環境調査実習） | | |
| 実習内容 | <p>1. 諏訪湖周辺の堆積物調査（吉田担当） 諏訪湖周辺において地形と河川堆積物の観察を行う。また、採取したサンプルを諏訪臨湖実験所で顕微鏡を用いて観察する。野外での観察と顕微鏡による観察とを結びつけることによって、諏訪湖の成り立ちを理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習 講義「諏訪湖周辺の地質体と諏訪湖の湖底堆積物」 ・野外調査 河川堆積物の観察・礫砂試料の採取 ・室内観察 実体顕微鏡を用いた堆積物の観察と考察 <p>2. 諏訪湖の水質調査（宮原担当） 信州大学理学部附属湖沼高地教育研究センター諏訪臨湖実験所で実施している諏訪湖の定期観測に参加し、水質観測の目的や方法を身に着ける。また、リアルタイムで得られている水質データの変動を気象情報と関連付けて解析を行い、両者の関係を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習 講義「水質観測の意義・諏訪湖の現状と課題」・観測機器の取り扱い説明 ・湖上調査 現地観測（水温・溶存酸素・透明度）・生物試料の採取・リアルタイムモニタリング装置の見学 ・水質データの解析 現場での観測値の整理と考察・リアルタイムモニタリングデータ（水温・溶存酸素）の取得と解析 <p>事前学習はWEB上で行い、実習は諏訪臨湖実験所にて2泊3日で行う。堆積物の調査観察は8月6日（火）～8月7日（水）諏訪湖の調査は8月7日（水）～8月8日（木）、を予定している。天候によっては湖上調査が困難なこともあるので、期間内で日程を変更する可能性がある。事前学習用に受講生には資料・動画を送るので、対面の実習日まで学習を済ませておくこと。成績評価は、提出されたレポートにより行う。</p> | | |
| 実習内容キーワード | 湖、水質観測、堆積物、諏訪湖の成り立ち | | |
| 担当教員氏名・所属・役職名 | 吉田孝紀・信州大学理学部・教授 宮原裕一・信州大学理学部・教授 | | |
| 協力教員氏名・所属・役職名 | 笠原里恵・信州大学理学部・助教 | | |
| 対象学生・学年 | 学部1～4年、修士 | 開講期間 | 8月6日（火）～8月8日（木） |
| 開講大学・施設名 | 信州大学 理学部附属湖沼高地教育研究センター 諏訪臨湖実験所 | | |
| 施設の住所 | 長野県諏訪市湖岸通り5-2-4 | | |
| 電話 | 0266-52-1955 | Fax | 0266-57-1341 |
| e-mail | miyabar@shinshu-u.ac.jp | Web Site | https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/kosyokochi/ |
| 交通案内 | JR 中央線・上諏訪駅より、諏訪湖側へ徒歩10から15分 | | |
| 費用 | 宿泊費（1,800円もしくは2,500円×2泊） 食費・交通費は実費負担 | | |
| 授業科目名 | 臨湖実習Ⅲ | | |
| 単位数 | 1 | 定員数 | 6 |
| 授業料の徴収について | なし | | |
| 受講生選抜基準と申し込み締め切り | 湖沼研究に興味を持つ学生であれば学部は問わない。単位互換の有無に関わらず、6月28日（金）までに申し込んでください。単位互換を希望する場合は、申込時に申し出るようにしてください。集合場所や持ち物については、選抜後、信州大学理学部事務から連絡します。 | | |
| 選抜結果連絡法 | 信州大学理学部事務から連絡します。 | | |